



本庄市長

## 吉田 信解

### 年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。平成二十一年の新春をご健勝にてお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

市民の皆様には日頃から市政に対する深いご理解と温かいご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年は、埼玉総体を始め全国レベルで本庄の元気な若人が活躍し、多くの市民に夢と大きな感動を与えてくれました。特に本庄第一高校は、児玉郡市で史上初めての甲子園出場を果たしました。

本庄市政では、今後十年間のまちづくりの基本を定めた総合振興計画に基づいて、市の将来像「あなたが活かす、みんなで育む、安全と安心のまち 本庄」の世のため、後のため」の実現に向け諸施策が始まりました。

教育では児玉小耐震化や児玉中新築など安全で安心して学べる環境整備を推進しました。また、今年から稼働する本庄上里学校給食センターは、最新の衛生設備、独自の炊飯設備、アレルギー対応給食の専用調理室を備え、災害時の食糧基地としても機能する「食の安全」「食育の充実」「地域の安心」に配慮した施設となりました。

福祉分野では高齢者人口の増加に伴い、医療・介護サービスや介護予防の充実を図り、日本経済新聞社実施による「行政サービス調査」の「高齢者福祉」分野では県内第二位の好成績でした。

さらに経済分野では、税収確保、生産年齢人口の定着を図るために進めております産業振興について、昨年は新たに誘致した七社の操業が始まりました。また、昨年後半より大変厳しい景況状況への対応策として、市も年末より制度融資の充実を図っております。

さて、全国的な少子高齢化と生産人口減少が予想される中、今後いかにして持続可能な社会づくりを進めるかは大きな課題です。本市は今年、五つのキーワードを掲げ、まちづくりを進めます。

一つ目は「子育て・教育環境の充実したまちづくり」です。引き続き高齢者福祉政策を進めつつ、今後は明日を拓く次世代の育成にも力を注いでいきます。子育て支援では千代田保育所の建て替えや子どもの医療費制度の充実。教育では引き続き校舎の耐震化や新築工事、また学習支援員など学校の人的充実を図ります。

二つ目は「市民との協働を推進するまちづくり」です。自治会や各種団体、NPO法人など様々な市民団体と連携し、地域おこし、防犯、交通安全、環境推進、子育て支援、スポーツ・文化・芸術といった生涯学習の振興など様々な施策を協働により推進します。

三つ目は「安全安心のまちづくり」です。厳しい社会状況に対応するため、警察・消防との連携による防犯・防災施策の推進はもちろん、青少年の非行防止や生活者福祉、市内中小企業対策など働く方々の安全安心の施策も推進してまいります。

四つ目は「活力を高めるまちづくり」です。今後も将来への投資としての企業誘致政策を推進します。また本庄早稲田駅周辺地域では、将来の本庄の顔として、孫子の代まで引き継げるまちを目指し、早稲田大学と連携しつつ豊かな自然環境と新しい産業・住宅環境の調和した、「本庄早稲田の杜づくり」構想を推進します。十七号バイパスについては、今後の事業化に向け関係機関への働きかけを強めます。

五つ目は「全国に知られるまちづくり」です。本庄地域・児玉地域それぞれの祭り、塙保己一先生など郷土の顕彰、また生産性の高い安全な農産物や、市民・行政の様々なまちづくりの取り組みなどを、さらに積極的にPRしてまいります。

私は市民の皆様といっしょに、子どもたちが大人になったときに誇りに思える故郷を、活力と魅力あふれるまちを築いてまいります。どうか今年も本市の創造にお力をいただきますようお願い申し上げます。併せて、皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。